



2024年12月13日

各位

会社名 株式会社UNIVA・Oakホールディングス  
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二  
(コード：3113 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役グループCFO 作田 陽介  
(TEL. 03-6682-9984)

## 株式会社マツモト（コード：7901、東証スタンダード市場）によるプレスリリース内容 及び当社投資事業における戦略的軸足に関するお知らせ

本日2024年12月13日、当社投資先である株式会社マツモト（以下「マツモト社」といいます。）より、「『誰一人取り残されない学校作り』という社会課題に対する取り組み開始について」とのプレスリリースが出されました。熟慮を重ねてこの度、学校が抱える課題解決に取り組むマツモト社の決断及び姿勢につき、当社としてはその意義に対して大きく賛同、従前に増しての支援に務める所存です。

### 1. マツモト社への成長支援投資の実施状況

2024年2月27日付「株式会社マツモト（コード：7901 東証スタンダード市場）への成長支援投資のお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社は、マツモト社が実施する既存事業の「深堀り」と新規事業の「探索」を両立させる「両利きの経営」の加速を目的とした、総額約8億円のエクイティ・ファイナンスを引受け、「ブロックチェーン卒アル」の本格的普及に向けた準備に際して、マツモト社にずっと寄り添ってまいりました。

『価値共創』は当社経営方針であり、マツモト社の前例なき挑戦につき、「ブロックチェーン卒アル」協業の基本合意相手である株式会社NTT Digitalや、実証実験を前向きにご検討くださる各学校等、革新の輪が段々と広がっていくことはパートナー冥利に尽きる思いです。

### 2. 「web3の社会実装」とマツモト社による学校関連の課題解決に向けた取り組みに対する当社の考え

「web3の社会実装」という観点では、各企業や自治体による積極的な取り組みから当社も学ぶところが多くあります。今般、マツモト社は、一世紀近く関わってきた学校の現状を直視して、『誰一人取り残されない学校作り』に焦点を定めての課題解決に取り組むことを目指します。

「web3の社会実装」はそれ自体が目的ではなく、社会課題解決のための手段の一つと捉えています。マツモト社による本日12月13日付けプレスリリースにある通り、web3テクノロジーやメタバースを活用しての課題解決を目指す取り組みについては、当社として大いに共感する次第です。

### 3. 当社投資事業の戦略的軸足 「web3を活用した企業価値向上に最注力」

去る2024年12月5日には、代表的な暗号資産であるビットコインの価格が史上初めて10万米ドルを超えました。米国財務省からは定期報告書にて暗号資産市場について言及、ビットコインはデジタルゴールドとしての役割があるとの認識が示されました。ただ、当社としてはこれを単に投資の世界でのメルクマール達成にとどまらず、暗号資産が世界金融の中で果たす役割の拡大、ひいてはweb3の存在感が金融の世界のみならず産業界や我々の生活の隅々まで拡大していくという大きな潮流と捉えております。

金融システムだけではなく、社会構造自体も抜本的に変革していく可能性がweb3にはあることを、当社は投資事業におけるバックボーンといたします。

当社は今後ともマツモト社の挑戦を全面支援すると共に、投資事業においてweb3を活用した企業価値向上に最も注力することに戦略的軸足を定め、競争力を強化し存在価値を高めてまいります。

以上